

おはようございます。

さあ、いよいよ2学期のスタートです。

10日間という短い夏休み、

私は、朝、ラジオ体操する人や蝉取りする親子の姿、昼間の野球放送を見ることもなく、また、夕方のエイサー練習の太鼓の音も聞こえてこない、いつもとは違う夏休みを、そして沖縄の8月を感じとることができました。

大勢で集まることも、お祭りや花火大会もないこれまでとは違った夏だけど、皆さんは、どのように過ごし、どんなことを感じとることができましたか。

夏休みが短くなったのも、楽しみにしていたお出かけやお祭りがなくなったのも、みんな、コロナのせい！ コロナが悪い！

確かにそうですね。私たちの、みんなで集まる楽しさやみんなで動き回る楽しさを奪い取ったコロナウイルスは、それだけではなく、私たちの大切な人の健康や命まで奪おうとする厄介なものです。

でも、思い出してみてください！

私たちの身近なところとなったコロナウイルスは、風邪みたいなものでしたよね。

だから、こまめな手洗いやマスクを正しくつけることで、自分や周りの人たちの健康を守ることができるんですよ。

コロナのせいで、これまでできてたことができなくなって、窮屈で面白くなくてつまらない……。

でも、本当にそれだけでしょうか、私たちが考え出した「コロナから身を守る」という工夫・行動のおかげで、いつもと違う夏の過ごし方や、これまでとは違う楽しみ方を発見することができるチャンスがやってきたのです。

しかも、その楽しみ方は、自分だけが楽しければいいといった自分勝手なものではなく、人の健康や命を守りながら、同じ目標に向かって共に楽しむといった、人として最も大切な「思いやりの心」を発揮しながら楽しむ楽しみ方を考え出していくのです。

これまでにない94日間という長い2学期、いくつもの予定している学習活動や学校行事などの計画を変更しなければならなくなるかもしれません。その中には、前々からとても楽しみにしていたものも出てくるかもしれません。

そんな時こそ、チャンスです！これまでにない新たな活動や楽しみ方を工夫して、これまでにない私たちの2学期を創り上げていきましょう。

だからこそ、当たり前が当たり前でできる「スーパー大謝名っ子」をめざして、そのために、6年生は下級生の手本となることをこれまで以上に強く意識し、下級生は6年生を見習い、取り組んでいきましょう。

これで、私の話を終わります。